



読書名人への道 ⑦



「あのときすきになったよ」 薫 くみこ 教育画劇

その子は、おもらしばかり、しているから、みんなに「しっこちゃん」とよばれています。いつもおこったようなかおをしているし、いじわるだし、わがままだし、だいきらい、とおもっていたけれど……。

「ふしぎ いしまたじゅんぺいと不思議の石又」 松居 スーザン 文溪堂

「石又」は、昔話に出てくるスーパーマン。いろいろな姿であらわれては、こまっている人を助けてくれます。ある日、子ねずみのじゅんぺいは、けがをしたカラスを見つけます。悪者のカラスです。でも、じゅんぺいは、このカラスこそ石又ではないか、と考えて……。

「負けるな、ロビー！」 マイケル・モーパーゴ 評論社

ロビーは交通事故にあって、病院のベッドで、チューブにつながれています。目をさましたいのに、さませない。でも、みんなの声はちゃんと聞こえます。元気になって、と励ましてくれるのは、家族や、看護師さんや、友だちや、けんか相手や、交通事故の相手のドライバーや、サッカー選手や、それから……。
がんばれ、ロビー！

あとがき

しみ 地味で長くて、にんたい ひつよう 読み進めるのに忍耐が必要だけど、むちゅう やがて夢中になる。
ふゆやす 冬休みには、そんな本をおすすめします。
しん かし 真に価値ある物は、さいしよ 最初むずかしそうに見えるのです、じつ 実は。

